

6月 学校朝会がありました。(6月7日水曜日)

6月の学校朝会が、7日の朝から行われました。体育館への入場も集合を待つ時間もとても静かで落ち着いた雰囲気でしたから、すんなり集会を始めることができました。今月は、「いじめ根絶月間」でもあることから、今月の一文字を「笑」として、今年も笑顔が



あふれる大江小にしていきたいという思いを伝えることから話を始めました。そこで、「どんな時に笑顔になりますか?」と問いかけると、子どもたちから「楽しい時」「嬉しい時」といった声が返ってきました。そうなるためには、自分の取組をやり遂げる強さが大事だと話をしました。続けて、「誰かを笑顔にできていますか?」と投げかけ、そこには相手を大事にする優しい心が必要だと伝えました。自分も相手も笑顔になれば素敵です。いじめゼロにもつながるはずで

人と人をつなぐうえでも、笑顔は大きな力をもっていると思います。先日、先生たちにも笑顔を大事にスマイルアップを心がけていこうと呼びかけたところです。先月末の運動会では、自分はもちろんのこと、友達もまわりの人たちも笑顔になりました。それは、一人一人が一生懸命に競技・演技に取り組み、みんなの力を集結させることができたからです。そこで、運動会当日、4年生はエイサーの演技のラストに示してくれた「一生懸命ってかっこいい!!」の文字ボードを紹介してもらいました。運動会で、大江小の子どもたちががんばった姿はまさに「一生懸命でかっこよかった」です。これからもその姿勢を大事にしてほしいと話をしました。さらに、今月の学校朝会には、2人のゲストを迎えました。朝からゴミ拾いをしながら、さわやかな挨拶をしている近隣の開新高校の軟式野球部の主将と副主将の2人です。昨年も来校してもらい、挨拶の手本を示してもらいましたし、実際の高校生の姿を見ている子どもたちもいますから、身近に感じる事ができたようです。「野球の技術だけではなく、ゴミ拾いや挨拶をすることで人間性も高めたい」「今までも挨拶はしていたけど、自分から挨拶をすることで自分自身も気持ちよくなれる」そんなことを話してくれました。そして、実際にどんな挨拶をしているのかを見せてもらいましたが、はきはきと礼儀正しい挨拶の姿を見て、返す子どもたちの挨拶もそうになりました。「小学生が元気に挨拶を返してくれると嬉しい」と言っていた高校生からも「百点です」と…。いつも一生懸命にゴミ拾いや挨拶をしているかっこいい姿をお手本にして、大江小にも笑顔がいっぱいに広がることを期待しています。

